

ご 注 意

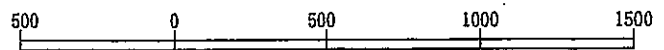
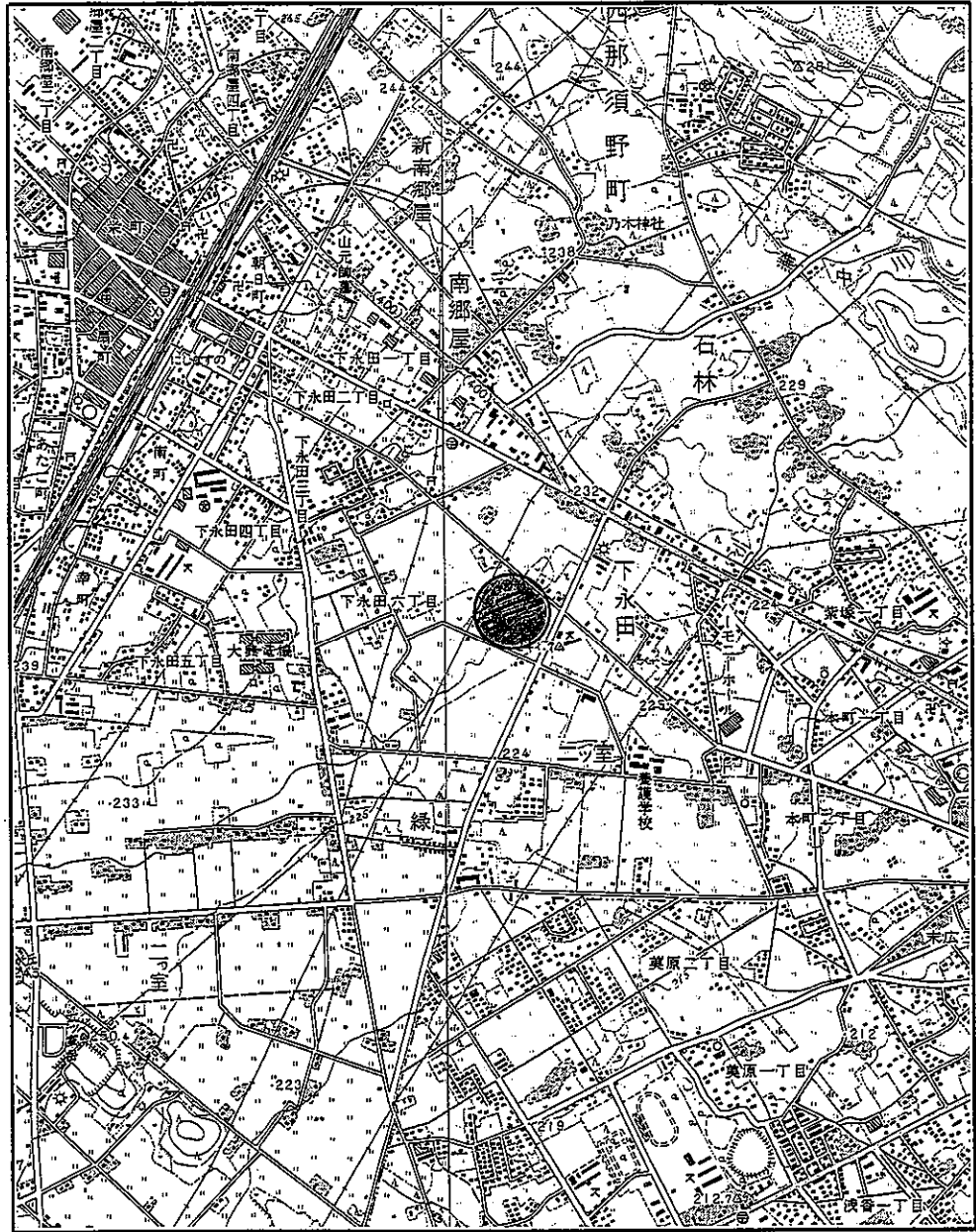
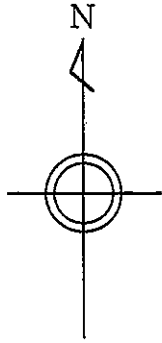
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

S=1:25,000



●…調査地

調査地案内図

土 質 柱 状 図

調査名 那須清峰高校第2体育館新築工事地質調査 調査年月日 平成12年7月31日
 調査位置 栃木県那須郡西那須野町下永田6-4 ~ 平成12年8月1日
 地点番号 No.1 標高 KBM+0.06 m 機種 TDC-1G型
 総掘進長 10.45 m 孔内水位 GL -1.80 m 担当者名 _____

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	観 察 記 録			標 準 貫 入 試 験					原 位 置 試 験		試 料 採 取		掘 進 月 日				
				土質記号	土質名	色調	記 事	深 度 m	打撃回数 貫入量	10cmごとの 打撃回数			N値	深 度 m	試 験 名		深 度 m	試料番号	採取方法	
										10 cm	20 cm	30 cm								
	-0.34	0.40	0.40	埋土	茶褐	上部、砂で粘性土主体。														
1	-1.14	1.20	0.80	ローム	暗褐灰	粘性強い。 粘土質である。	1.15	29 30	6	7	16									
2				砂礫	暗褐灰	含水あり。 φ2~50mmの亜円礫主体。 最大φ200mm程度の玉石点在。 3.0m付近、泥水が逸水する。 所々、粘土分混入。 6.0m付近、玉石混入。	1.45													
							2.15	50 30	25	13	12									
3							3.15	50 13	36	14	3									
							3.28													
4							4.15	50 18	20	30	8									
							4.33													
5				5.15	50 24	21	17	12	4											
6				5.39	50 2	50	2													
				6.15																
				6.17																
7				7.15	30 30	10	10	10												
8	-7.64	7.70	6.50	粘土混り砂礫	暗褐灰	φ2~50mmの亜円礫主体。 クサレ礫混入。 全体に粘土分混入。 所々、青灰色の粘土混入。	7.45													
							8.15	39 30	13	9	17									
9							8.45													
				9.15	38 30	15	11	12												
10	-9.54	9.60	1.90	砂混り粘土	暗褐灰	全体に砂分多量混入。	9.45													
							10.15	12 30	4	3	5									
11	-10.39	10.45	0.85				10.45													
12																				
13																				
14																				
15																				

7/31
8/1

